



赤坂アカデミー

～学びの継続・充実を目指して～

平成 28 年度版

研究授業（保育）予定

6月24日(金)赤坂小学校

9月23日(金)赤坂中学校

11月4日(金)中之町幼稚園

アカデミーの特色1

幼・小・中学校が一枚ずつあり、施設も隣接しているため、子ども同士だけでなく、教員や保護者も顔を合わせる機会も多く、交流・連携がスムーズにできる。

アカデミーの特色2

保護者・地域との結びつきが強く、学校（園）教育に対する協力体制が整っている。



1 アカデミーの基本方針

地域の中の温かいつながりを土台にし、学びを継続、充実させる幼・小中一貫教育の推進

1. 小学校入学前教育カリキュラム「MINATOカリキュラム」に基づく教育実践と幼・小中の相互理解の促進
2. 目指す幼児・児童・生徒像に向けての心の育ちを促す交流・連携活動の充実
3. 幼・小中の教員の協同（働）による教育の推進

2 目指す幼児・児童・生徒像

- 【徳】 赤坂の地域を愛し、自分を大切にし、人を思いやる豊かな心を育む子ども
- 【知】 学ぶ意欲をもち、確かな学力を身に付け、夢に向かって努力する子ども
- 【体】 自ら進んで心身の健康保持増進し、体力を向上させる子ども

3 短期的目標と具体的方策

1. 目指す幼児・児童・生徒像の共通理解
⇒幼児・児童・生徒像の把握のための学習・生活習慣などに関するアンケート調査の実施（小学6年生と中学校1年生で実施）
2. 学びの継続・充実に迫るための研究保育・授業と協議会の開催
⇒校種ごとに研究保育・授業及び協議会を実施（各校種1回）
3. 教職員間の連携を密にし、子ども同士の育ちにつながる交流・連携活動の充実
⇒ねらいを明確にした交流・連携活動の実施（年間3回以上）
4. 幼・小中を見通した特別支援教育の推進
⇒特別支援教育についての学び合いの実施（年間3回以上）
5. 赤坂アカデミーの研究内容を保護者・地域に周知
⇒アカデミーの目標・方針・研究内容等を周知するためのアカデミー通信の発行による情報の共有化（アカデミー通信の発行年4回、ホームページでの公表、校（園）内への掲示）

昨年度の成果

アカデミー内における教育課程の共通理解を図ることができた。また、アカデミー通信により、教職員・保護者・地域へ活動の周知を図ることができた。さらに、アンケートの実施により幼児・児童の実態把握ができたことで視点を明らかにした研究保育や研究授業、協議会の充実を図ることができた。

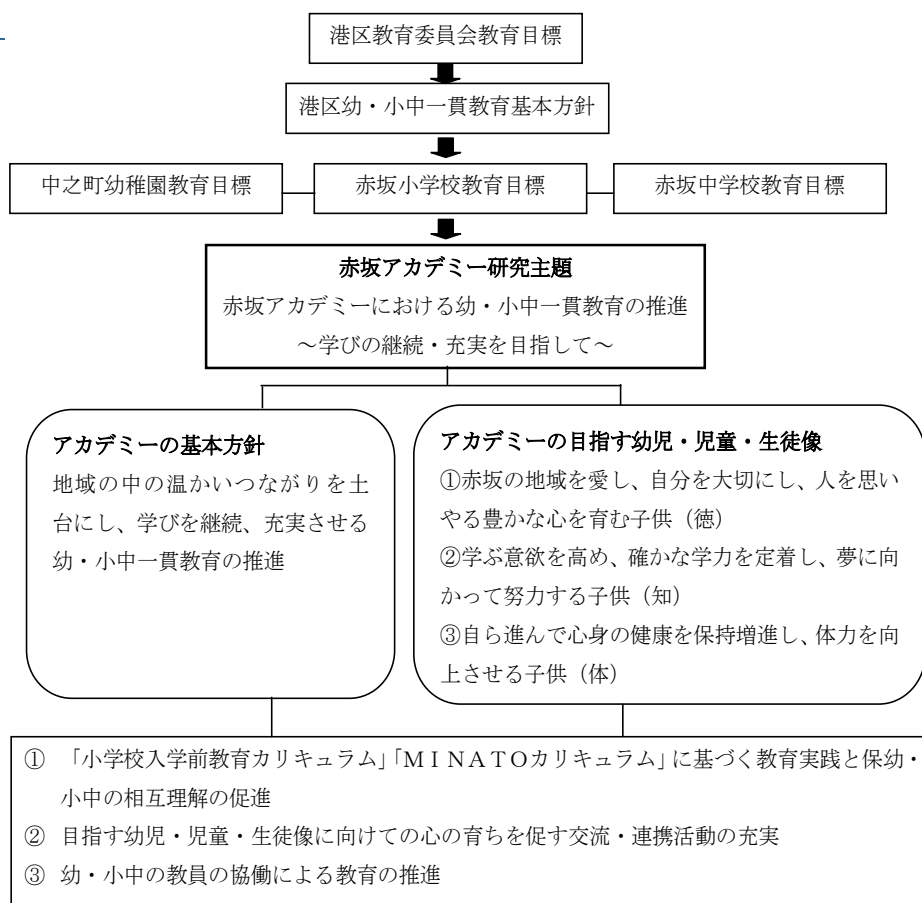


4 長期的目標と方策

平成 34 年開校予定の小中一貫教育校に向け、赤坂地区ならではの地域性を生かした幼・小中の連携・接続を目指す。

- 学びの継続に基づく、カリキュラムの検討・編成（幼との接続）
 - ⇒「小学校入学前教育カリキュラム」「MINATO カリキュラム」に基づく教育実践
- （幼）小中一貫教育校開校に向けた学校運営・組織体制の整備
 - ⇒教育実践を基盤としたアカデミー独自の教育課程の検討と編成

5 研究構想図



各層における具体的な役割

経営会議（ 校園長・副校長 ）	研究基本方針の策定、教育委員会、地域・保護者との連絡調整など	
連携会議（ コーディネーター ）	研究・交流計画の策定、調整、アカデミー通信の発行など	
教務主任 交流活動 ○行事交流（運動会、音楽会） ○地域交流（総合防災訓練） ○授業交流（生活科、国際科） ○特活交流 （部活体験、職業体験）など	生活指導主任 共通理解 ○学習規律及び生活規律 「赤坂のきまり」 ○教員間の情報交換 （いじめフォーラム開催、ふれあい月間活用）など	研究主任 カリキュラム ○MINATO カリキュラム 指導案の柱に活用 ○特別支援教育 ○教科部会 など